

## 令和5年度第2回学校運営協議会 議事録

○日時：令和5年12月21日（木） 15：00～16：40

○場所：三刀屋高校掛合分校 音楽室

○出席者：学校運営協議会委員 5名（※50音順による 敬称略）

石橋 純子(社会福祉法人仁寿会医務室長), 小川 真里(掛合町文化協会事務局),  
白築 敏彦(掛合自治振興会事務局長), 難波 順子(雲南市立掛合中学校長),  
松村 知子(掛合保育所職員)

学校関係 6名

本間 達也(三刀屋高等学校長), 伊藤 尚子(三刀屋高等学校掛合分校副校長)  
鐘築 晶子(総務部長), 後藤 光昭(教務部長), 北浦 紀子(生徒部長)  
大野真由子(進路指導部長)

○次第および協議内容等(概要)

- (1) 2学期学校概況について
- (2) 学校評価について  
令和5年度各分掌中間反省  
令和5年度学校評価アンケート(案)について
- (3) 意見聴取  
学校運営および教職員の人事要望について
- (4) その他

○2学期学校概況について(副校長伊藤より説明)

○学校評価について

令和5年度各分掌中間反省について(各分掌の長から簡単に説明後、委員からの感想や質問等  
→斜体文字は学校からの回答)

【総務部へ】

- ・世の中ではPTA活動も外部委託のPTACという名称へというような時代になっているようである。PTA会長さんが生徒たちに親しまれているのはいいことで、学校行事などの子どもたち以上にPTA活動を楽しむ保護者がいるといいと感じる。

【教務部へ】

- ・ここ数年で掛合分校に通う生徒たちのイメージが変わってきた。入学してくる生徒たちの人数も増えつつ、入学後は生徒たちが意欲をもって自分たちの活動に取り組んでいる様子がよくわかる。地域をフィールドとした学びなどが好循環になっていると感じる。
- ・授業に関してはICT活用も含めて、中高の間でももう少し授業互見などができるとよい。4校園連携学力育成部の中にもあるが、今年度はなかなかその交流がすすんでいないと感じている。
- ・3年生の研究発表やそれまでの取組で園児やその保護者にもつながりを持たせてもらった。一人一人がきちんとして一生懸命活動に取り組んでいると感じる。
- ・基礎学力の定着、家庭学習習慣の定着でAI教材の導入など工夫をされているようだが、効果が

図れるものか？これからの時代には生徒たちにプラスになる学習方法への取組と思う。

→学習時間などすぐにデータがわかるものもあるが、学力への反映にはしばらく続けてみないとわからないので、引き続き様子を見ていきたい。

#### 【進路指導部へ】

- ・今年度インターンシップで2名を受け入れた。体験後学校に戻ってから生徒の様子がどうだったか気になった。また事業所で初対面の方への挨拶、とっさの行動など誰がどこで指導していくのかと考えることがあったが、またいろいろなことで連携をしていきたい。
- ・この会が始まるまでに3年生の卒業研究の発表をほぼ全員見させてもらった。いろいろなテーマで研究されていたが3年間の成長の様子がうかがえた。自分の次の段階のことを見据えて取り組める生徒がいることがわかり、それも大変よと感じた。掛合でも様々な取り組みをしているが、町外の生徒であってもかけイルミ、デイキャンプなどボランティアに参加してくれる生徒へ「なんでか」と尋ねたら、「地元のためなることがしたいという気持ちがあるから」との返事が非常にうれしかった。
- ・教職員の人数も少ない中で多様な進路志望に対応され、結果を出しておられるのは大変なことと思うが、どのような工夫がなされているのだろうか。  
→個別対応している。各教科はもちろん、特に国語の書く力や表現する力などは指導場面が多い。

#### ○意見徴収：学校運営および教職員に関する人事要望の申出について

##### ① 学校運営

- ・掛合分校の体育館について背景と現状報告、今後について

##### ② 教職員の人事要望について

- ・掛合分校の教職員数の現状と課題について

- ① ②で審議したことを、学校運営協議会からの要望として県教育委員会へ申出を提出する。

#### ○その他

バス停までの道路の横断について地域住民の方からこの時期ならではの心配事を聞いている。暗くなってからの時間に黒い制服、黒いジャンパー等で歩かれることが車のドライバーには怖い。反射材や横断旗を持って歩くのは高校生には抵抗があるかもしれないが、学校のほうでも指導や工夫をお願いしたい。

